横浜市立奈良中学校　学校だより

ならの木

３月号

令和６年３月 25 日

学校長　　山根　淳

https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nara/

人とのつながり

校長　山根　　淳

３月１２日、192 名の３年生が義務教育を無事修了し、卒業しました。

３年生の入学当時は、「いのちを守ること」、「コロナウィルスの感染を拡大させないこと」を最優先に学校生活を進めていました。仲間と頭を寄せ合い話し合う活動や、向かい合って楽しくおしゃべりしながら食事をとることもできませんでした。様々な行動制限がかかる中、コミュニケーションのとり方を工夫しながら仲間との絆を深めていきました。最上級生となった今年度、体育祭や合唱コンクール、様々な学校行事において、学年の団結力の強さや一所懸命に取り組むことの素晴らしさを後輩たちに示していました。卒業間近の１週間の中でも、三送会や卒業式予行での合唱で表現した美しいハーモニーと緑学年の一体感に、目頭を熱くする１，２年生の姿がありました。卒業生が築いてきた奈良中学校の歴史は、間違いなく後輩たちへ引き継がれていきます。

第 43 回卒業証書授与式には、５年ぶりに学校運営協議会の皆さまをはじめ、地域の皆さまにも参列していただくことができました。保護者の皆さまとともに、証書授与や卒業生合唱を通して、立派に成長した卒業生の姿を見ていただけたたことを大変うれしく思います。奈良中学校を巣立っていった 43 期生、新しいステージにおいても、自分らしく努力し、挑戦する姿を応援しています。

令和５年度を振り返ると、６月に学校家庭地域連絡協議会を開くことができました。１１月には２年生が職場体験学習で地域の方々にお世話になりました。１２月には奈良ふれあいフェスティバルにおいて、小学校、中学校、地域の方々と音楽・文化を通して交流することができました。３月１４日には、奈良地区社会福祉協議会、奈良地域ケアプラザの方々と本校生徒会役員、福祉委員の生徒が「誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくり」をテーマに話し合う機会がありました。一歩ずつですが、様々な活動の広がり、人と人とのつながりを感じた１年となりました。また、今年度も１月末に「奈良中学校の教育活動の充実」に役立てて欲しいという願いが込められた寄付金が「横浜市ふるさと納税」という形で配当されました。推測でしかありませんが、他都市で働く本校卒業生が、愛する母校の在校生のために送ってくださったものと思っています。さらにうれしいことに、昨年度の１０倍もの額を頂きました。今回は、奈良中生を熱中症から守る大型テントを購入させていただきました。ありがとうございました。

43 年の本校の歴史は、１，２年生につながっていきます。そして、４月には新入生が入学してきます。クラスや学年の仲間との横のつながり、先輩、後輩の縦のつながり、小学生、卒業生を含めた奈良地区、恩田地区、地域の方々との世代を超えた広いつながりを大切に、奈良中学校は「夢・挑戦・共生」の教育活動を継続していきます。引き続き、本校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。